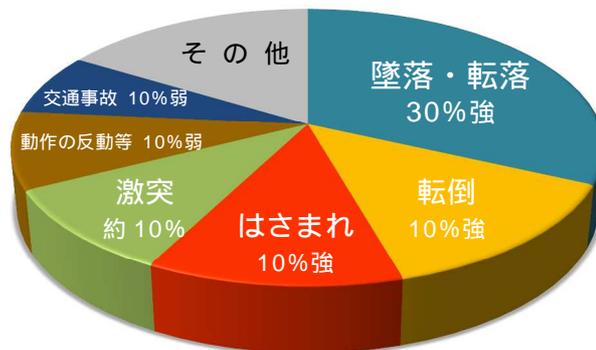


1 災害発生状況

(1) 墜落・転落災害が全体の30%強を占めています。

運送業の労働災害で最も多発しているのは、「墜落・転落」災害です。近年、ほとんどの年において、全体の**30%強**を占めています。



近年の運送業の労働災害発生状況（事故の型別）

(2) どこから墜落したか

はしごやプラットフォームからの墜落も一部みられますが、**大部分がトラックからの墜落**です。

具体的には荷台やアオリからの墜落が最も多く、その他、荷の上面、テールゲートリフター、タンクローリー車の上部、キャリアカーの開口部からの墜落等が目立ちます。

2 昇降設備を備えれば、墜落災害の減少が見込めます。

トラックからの墜落災害、300数十件を分析したところ、下記の結果となりました。

昇降中	40%	運転席への昇降中	昇	1%
			降	10%
		荷台への昇降中	昇	3%
			降	20%
		その他の場所への昇降中等	3%	
作業中	60%	シート掛け・ロープ掛け中	20%	
		荷の上面で作業中（シート掛け等を除く）	3%	
		荷台上で荷さばき中	30%	
		テールゲートリフターから	2%	
		キャリアカーの開口部から	1%	
		その他の場所から	2%	
		フォークリフト等へ乗り移る際	1%	
		荷物をもって昇降中	1%	

* 数値は全て概数で表現。

作業中に墜落したものが約60%を占めている一方で、昇降中に墜落したものが約40%と、かなり多いことが分かります。特に**荷台への昇降中に墜落したものが、全体の4分の1弱にあたる、23%を占めています**。発生状況を見ると、適切な昇降設備がないために墜落したものが大部分です。

- ・ 1段ないし数段の**昇降設備**を備えれば、荷台への昇降はかなり安全に行えるようになり、墜落災害の減少が見込めると考えられます。
- ・ 昇降中に起きた災害の約8割が降車の際に発生しているため、**特に降車の際に、昇降設備の使用を確実に**すべきです。

3

作業中の墜落防止

(1) 荷台上での荷さばき作業について

荷台上で、荷さばきを行っていた際の墜落は、**全体の約 30%**にあたります。

よくみられる事例

何らかの反動によって墜落した。

- ・ボールが外れた反動で墜落
- ・荷物を持っていた手が滑った反動で墜落
- ・持っていた荷物の一部が外れた反動で墜落
- ・荷物が予想以上に重く体勢を崩し墜落

荷台の端を踏み外して墜落した。

荷台上で滑って、またはつまずいて墜落した。

荷台上の物が倒れてきたため、これに押される形で墜落した。

対策

- ・荷台の端を歩行しない。荷台の端付近で後ずさりしない。
- ・荷台上の水・油を拭く。(雨や雪による水濡れにも注意。)
- ・荷台上の道具箱等を整理する。
- ・荷が倒壊しないよう、積込み、積卸しの手順に注意する。

(2) シート掛け・ロープ掛け作業について

シート掛け・ロープ掛け中の墜落は、**全体の約 20%**にあたります。平ボディ車の荷の上面で作業をしていたものが多数を占めますが、箱車での事例もみられます。

よくみられる事例

平ボディ車 荷の上面でシート掛け・ロープ掛けをしていて

- ・シートが引っかけた反動で墜落
- ・荷締め中にロープが外れた反動で墜落
- ・レバーブロックのツメが外れた反動で墜落
- ・レバーブロックを握る手が滑った反動で墜落

箱車 荷台上で荷締めをしていて

- ・ラッシングベルトをかける際に固定が外れ反動で墜落



ラッシングベルト

対策

- ・荷の上面等、高所での作業となる場合には安全帯や保護帽を確実に使用する。

(3) (シート掛け等を除く) その他、荷の上面からの墜落

シート掛け・ロープ掛け以外の、その他の作業をしていて荷の上面から墜落したものは、全体の**約 3%**にあたります。

よくみられる事例

- ・作業場所が狭いために滑って墜落、または踏み外して墜落した。

対策

- ・荷の上面等、高所での作業となる場合には安全帯や保護帽を確実に使用する。
- ・作業場所の端を歩行しない。作業場所の端付近で後ずさりしない。

4

荷台以外の場所等からの墜落防止

(1) テールゲートリフターからの墜落

ストッパーが原因となったもの

よくみられる事例

- ・ストッパーが正しく上がっていなかった。
- ・上がっていたストッパーを踏み降ろしてしまった。



対策

- ・ロールボックスパレットを移動するときは、ストッパーが出ていることを確認する。

ゲートの誤操作が原因となったもの

よくみられる事例

- ・荷役中に、誤ってボタンに触れてしまった。
- ・荷役中に、他の労働者が誤ってゲートを下げてしまった。
- ・荷の位置を整えないうちにゲートを下げたため、荷が引っかかった。



対策

- ・可能であれば、誤って触れることがないように操作ボタンを改善する。
- ・2人作業の場合は、他の労働者と連絡調整を十分行う。

昇降の際、その他

よくみられる事例

- ・荷台からゲートへ降りようとした際、ゲートが上がっておらず踏み外して墜落した。
- ・地面からゲートへよじ登ろうとして、墜落した。
- ・ゲート上で作業していて、水、油により滑って墜落した。
- ・ゲート上で作業していて、トラックが発車したため墜落した。



対策

- ・荷台からゲートへ降りる際は、ゲートの状態を確認する。
- ・地面からゲート上へ直接よじ昇ることを禁ずる。若しくは、踏み段等を設けて使用させる。
- ・ゲート上の水・油を拭く。(雨や雪による水濡れにも注意。)
- ・2人作業の場合は、他の労働者と連絡調整を十分行う。

(2) タンクローリー等からの墜落

はしごの昇降中に墜落

よくみられる事例

- ・はしごからタンクローリー上部に乗り移る際に墜落した。
- ・はしごの最下段からステップに乗り移る際に墜落した。

対策

- ・可能であれば、乗り移りがしやすいよう、はしごの上端を改良する。
- ・はしごから他の場所に乗り移る際や、はしごを降りきる際等に特に注意する。



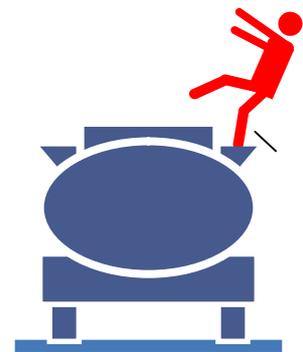
タンクローリー上部からの墜落

よくみられる事例

- ・タンクローリー上部の狭い箇所を作業床にして、点検や清掃等を行っていた際に墜落した。

対策

- ・可能な限り、足場を設置して作業を行う。
- ・高所での作業となる場合には安全帯や保護帽を確実に使用する。



清掃のための昇降中に墜落

よくみられる事例

- ・生コン車の、本来昇降設備でない箇所を足掛かりにして昇降しようとして墜落した。

対策

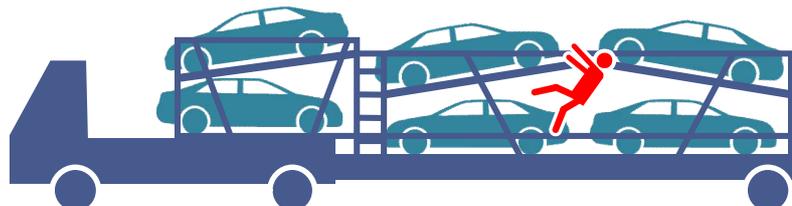
- ・清掃箇所への昇降を安全に行うための方法を検討する。



(3) キャリアカーからの墜落

よくみられる事例

- ・積載した車から降りた瞬間に、風にあおられて足を踏み外し墜落した。
- ・車輪止めの取扱いや調整中に足を踏み外し墜落した。



対策

- ・開口部やすき間が多い構造のため、昇降中、作業中とも墜落災害が発生しやすいことに留意する。特に積載した車から降りる際等に注意する。